

とちぎYMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

- NO.411 2026
- MAY

YMCA News

5



2026年5月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒321-0904
宇都宮市陽東4-18-30
TEL:028-624-2546
FAX:028-624-2489
<https://www.tochigiymca.org>
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA



鈍麻する現代社会と震災の風化

3月29日からの3日間、盛岡YMCA主催で「福島スタディツアー」が行われました。このツアーは、牧師や被災者の方々に案内していただき、福島県福島市、大熊町をめぐるものです。東北や北関東から15名が集まり、私もその一人として参加しました。

震災から15年と少し。これは私にとって人生の4分の3、途方もないスケールです。その時間の中で、震災を知るための手がかりは確実に風化し続けています。このツアーでも、私は震災の爪痕を読み解く難しさやもどかしさを感じました。しかしその一方で、もっとも深刻な風化を、私たちの内面で見つけたのです。

今回訪れた大熊町には、福島第一原発が立地しており、帰宅困難区域もまだ多く残されています。原発事故の影響が甚大なエリアであり、この町の異様さは見て明らかでした。除染作業により建物や表土はすべて取り除かれ、町の中心部を見ても震災前の姿を知ることはできません。震災後に建てられた施設がさみしく佇んでいるだけで、あとは荒地が広がるばかりです。私の知る「日常」とは程遠い現状でした。

その後、帰宅困難区域にも入りました。そこは、除染が進んでいない分、震災前の様子をうかがい知ることができます。草木が生い茂る中には、小学校があの日そのまま残されていました。机の上でいまでも下校を待つランドセル。付箋で膨れ上がった漢字辞典。そこには震災の痛みが色濃く刻まれている一方、震災前の生活を伝える大切な思い出として、今も残されています。震災により故郷の情景は失われ、わずかに残った記憶の手がかりには、安易に手が届きません。地震や津波は町を壊滅させますが、その地には人々が戻り復興していきます。しかし、原子力災

害は住人をいつまでも追いやり、受け継がれるはずだったその土地特有の体験を取り上げます。それは町から記憶を奪い、その根底を破壊することだと、この肌で感じました。

ツアーを通して、私は震災の恐ろしさを体感する一方で、想像力の欠如という自分自身のもつ危うさを強く感じました。現に私は、その場に立ち語りを聞くまで、全く被災地の状況を理解していませんでした。それに今考えてみると、電力需要が原発を生み出したという日常との地続きを考えず、どこか他人のままだま生活していたと自覚せざるを得ません。しかし実際は、私だけでなく社会全体が鈍麻しているのだと思います。情報にあふれた現代では、表層の情報だけをすくって知った気になりがちです。そうして情報の海におぼれていくうちに、ニュースは消費されてしまうのでしょうか。しかし、私たちには想像する力があります。そこで、この現状を打破するためには、語り合うことが強い武器になると考えます。被災を体験していない私たちは、互いに語り、想像しあうことで、震災を体験します。そうして伝播した学びが、その人の中に消費される情報としてではなく、風化しない思想として刻まれていくのではないのでしょうか。

とちぎYMCAユースボランティアリーダー
三浦 俊亮

とちぎYMCAの使命

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2026年度 とちぎYMCA年間聖句

「平和をつくる人は幸いである」

新約聖書 マタイによる福音書 第5章25節9節
《山上の重訓 幸いの言葉》より



さくらんぼ 幼稚園 入園式



さくらんぼ幼稚園では、4月11日（土）に年中組2名、年少組74名、計76名の子ども達を迎えて、とても良い天気の中入園式を行いました。それぞれ素敵な洋服に身を包んだ子ども達。少し緊張した様子も見られましたが、友だちや先生に会うと次第に笑顔になり、呼名の時には元気いっぱいのお返事を聞かせてくれました。新しい生活への期待を胸に、楽しい園生活への第一歩を踏み出すことができました。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、これからの成長を職員一同あたたかく見守っていききたいと思います。

ようとう保育園 お宝発見！！ 環境整備報告



子どもたちが安全に、安心して園生活が送れるよう、ようとう保育園では定期的に安全計画策定委員会を開いています。

今年度最初の取り組みは、側溝の清掃。砂・土・落ち葉だけでなく、スコップやどんぐり、きれいな形のままの泥だんごなどの“お宝”もたくさん見つかりました！側溝の“穴”は子どもたちに魅力的なようで、つつい何かを落としたいくなるようです。物を大切にすることを知らせつつ、次回の清掃の時には何が見つかるのか？楽しみにしたいと思います。

ひがしやま アトムクラブ 春のアトムの 子どもたち



今年も、卒業生を送る会を催しました。記念品としてマグカップ制作をしました。送る会では、在校生から卒業生への贈る言葉やスタッフから言葉と共にアルバムとマグカップの贈呈がありました。卒業生からの言葉、ゲームやクイズ、アトムのうたを全員で歌い、おやつにはシュークリームとジュースを食べたりと楽しい会になりました。その後も卒業生を含めながら、仲良く会話を楽しんでいます。毎年の事ですが、淋しい別れです。6年間見守ってきた子どもたち、中学生になっても元気に頑張ってください。

4月1日からは、新1年生も来所し元気に遊んでいます。上級生と一緒に絵描きやミニカーで遊んだり、校庭では追いかっこやボール遊びなどを楽しんでいます。

これから暑くなってくるので、熱中症や怪我をさせないように気を付けて見守りたいと思います。

デイホーム きよはら 花見ドライブへ



先日、利用者様と一緒に花見ドライブに行きました。満開の桜並木を車窓から眺め、「わあ、きれい！」「春だね」と笑顔があふれ、車内是和やかな雰囲気になりました。

その後は回転寿司チェーンで外食。好きなお寿司を選びながら、「どれにしようかな」と楽しそうな会話も弾み、普段以上にいきいきとした賑やかな雰囲気と表情を見ることができました。

桜を見て、春を感じながら外出と食事を満喫できた一日となり、心も体もリフレッシュできる時間を過ごすことができました。今後も楽しい企画を通して、笑顔あふれる時間を提供していきたいと思います。

宝木小 子どもの家 チャイルドクラブ 春休みの思い出と 新しいスタート

校庭には、子ども達の声が元気に広がっています。新しいクラスでの生活にも少しずつ慣れ、楽しみ始めています。春休みには、お菓子とり競争で大はしゃぎし、お菓子を手にした後、みんなでお菓子を味わいながら、楽しい時間を共有することができました。ビンゴゲームでは、数字が読み上げられる度に盛り上がり、部屋の中は笑顔でいっぱいになりました。今年度は60名の1年生を迎え、歓迎会では折り紙で作ったお花をプレゼントしたり、なぞなぞをしたりとあたたかな時間になりました。新クラスに向けた引越では、自分の荷物を運んだり、教室の掃除を手伝ったり、子どもたちの協力する姿がとても頼もしく感じられました。これから始まる1年が、子どもたちにとって楽しく安心して過ごせる日々となるように、見守っていききたいと思います。



宇都宮市青少年活動センター トライ東 児童遊園 あそぼの家

宇都宮市青少年活動センター「児童遊園あそぼの家」をご存じでしょうか？「児童遊園あそぼの家」は、0歳から小学生のお子さまとその保護者さま対象の【親子のあそび場】です。充実したおもちゃや絵本で室内遊びが楽しめます。

また、保育士スタッフが常駐し、お子さまの遊びを見守りながら保護者さまのご相談にも対応しています。（託児サービスではありませんので保護者同伴でご利用ください。）砂遊び道具やストライダー等の貸出があり、外遊びも思い切り楽しめます。

そして、今年度からあそぼの家イベントがパワーアップ！工作や読み聞かせ、手形足形ペイントなどワクワクなイベントを週に1-2回ペースで開催予定です。ぜひ遊びにきてくださいね♪

【利用時間】

・午前の部 10:30～12:00（※11:40からお片付け）

・午後の部 13:00～17:00（※16:30からお片付け）

【休館日】

・日曜日・祝祭日・年末年始（12月28日～翌年1月3日）

宇都宮市児童遊園 2026年5月 あそぼの家 イベント情報					
5/2 (土)	10:30- 正午	いちごのスタンプあそび (未就園児親子)	5/19 (火)	11:30- 正午	読み聞かせ (未就園児親子)
5/8 (金)	13:00- 15:00	母の日カーネーション工作 (小学生・幼児親子)	5/21 (木)	10:30- 正午	おさんぽワンちゃん (未就園児親子)
5/9 (土)	13:00- 15:00	母の日カーネーション工作 (小学生・幼児親子)	5/23 (土)	13:00- 15:00	センサリールを作ろう！ (小学生・幼児親子)
5/11 (月)	10:30- 正午	コケッコーさん (未就園児親子)	5/25 (月)	10:30- 正午	センサリールを作ろう！ (未就園児親子)
5/12 (火)	10:30- 正午	手形アートちょうちょ (未就園児親子)	5/28 (木)	10:30- 正午	にじみ絵 あじさいを作ろう (未就園児親子)
5/14 (木)	11:30- 正午	読み聞かせ (未就園児親子)	5/29 (金)	10:30- 正午	にじみ絵 あじさいを作ろう (未就園児親子)

*各イベントの定員は先着10組です。参加費はすべて無料です。

【国際協力募金2025 ご報告とお礼】

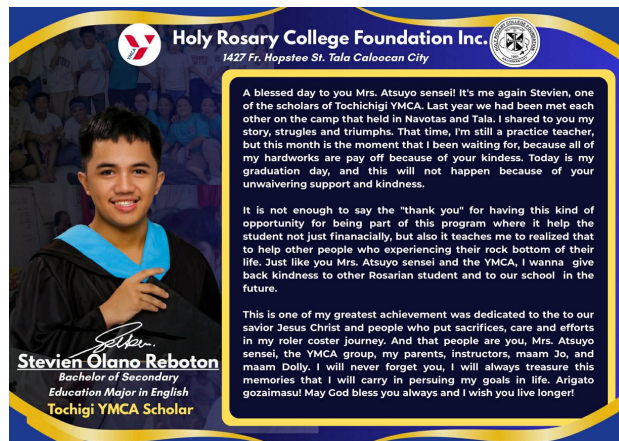
2025年度も国際協力募金へご協力いただきまして誠にありがとうございました。たくさんの方にご支援いただき、総額763,078円が集まりました。12月～3月に行いました国際協力募金強化期間のクリスマス・お年玉募金では、お子様から成人の方までたくさんの方から応援メッセージもいただきました。皆様からいただいた温かいお気持ちは、とちぎYMCAと長年交流のあるフィリピンナボタス・タラの学生への奨学金をはじめ、ユースの国際プログラム参加費補助金他、下記の支援に使用させていただきました。

【使途内訳】

収入総額：1,158,440円（2025年度募金総額763,078円＋2024年度繰り越し分395,362円）

- フィリピンHRCF（タラ）奨学金 140,000円
- フィリピンナボタス奨学金 100,000円
- ユース国際プログラム参加費補助金 240,000円
- 国際教育ワークショップ 21,137円
- とちぎYMCA国際協力イベント 67,009円
- 日本YMCA同盟を通して世界の支援 132,000円
- 国際ピースシードアクセサリ準備 36,700円
- ＊2026年度へ繰越 421,594円

2023年度から支援をしておりまして、ErnestoとStevienがこの3月に卒業し、教員になりました。彼らは「この奨学金がなければ、学校に通うことも、夢を追うこともできなかった。これからは、自分の生徒に熱心に勉強と他を思いやる気持ちを教えていきたい」と話しています。皆様のご協力ありがとうございました。



Stevien インタビュー動画→



とちぎYMCAではこの春も 野外スプリングプログラムを実施いたしました！



磐梯シュプールスキーキャンプ

今回の磐梯スキーキャンプでは、幼児さんから小学生高学年まで幅広い年齢の子どもたちと、楽しくスキーやレクリエーションを行えるキャンプとなりました。既にスキーができる子も、初めてスキーを体験した子も、3日間を通してどんどん上達し、思い切りスキーを楽しんでる様子が見られました。帰りの会が行われた際には、テーマソング「OLA!」を元気よく歌い、最後のグループタイムではリーダーとグループの子どもたちとでキャンプの思い出で盛り上がり、最後の最後まで温かい気持ちになれるキャンプとなりました。

あいすリーダー

はじめてのテントキャンプ

集合時はテントで寝ることに緊張する様子も見受けられましたが、オートキャンプ場までの道のりを一緒に話しながら歩いたり、協力してテントを立てたりする中で、自然と笑顔があふれるキャンプとなりました。

ボール遊びやカードゲームなど、それぞれが好きなことを楽しみながら、友だちやリーダーとの仲も深まり、かけがえのない2日間を過ごしました。

ぱび〜リーダー



夏休みのサマープログラムは6月から申込み開始予定です。

2026年度もとちぎYMCAシーズンプログラムをよろしくお願いいたします！

YMCA国際交流キッズキャンプ参加者募集

アメリカのBCCYMCAから来る高校生のお兄さん、お姉さんと楽しい2日間を過ごそう！
共通言語は、英語とジェスチャー！オリエンテーリングや工作、グループ活動を通して、異文化体験をしよう！

【日にち】2026年7月23日(木)～24日(金) 1泊2日
【参加費】メンバー：31,900円 ビジター：35,090円
【集合／解散】宇都宮駅東口（9：00／16：00）＊予定
【定員】25名（最少催行人数15名）
＊アメリカからの高校生がグループリーダーとなります
【活動場所】とちぎ海浜自然の家（茨城県銚田市玉田336-2）
【申込み】2026年5月7日(木)10：00～6月1日(月)まで
＊定員になり次第締め切ります。



詳細はこちら→

International Camper's Exchange Program（青年国際交流キャンプ）でとちぎYMCAに来るアメリカの高校生と、日本人キャンパー1～3名につき、1名のアメリカの高校生がグループを組み、さまざまな活動とおして交流を深めます。

塩澤総主事の、

VOL.



なにそれなにそれ
#五月病 #アイデンティティ
#そばつゆ #みうらじゅん

世

の中が複雑になって「五月病」という言葉のリアリティも薄れてきたようです。それだけ、一年を通して私たちは緊張やストレスの中で日々を過ごしているのですね。そんな毎日ですら「わたしって何だろう」と自分を見失ったように迷うことは自然なことです。

先日、『東西の味』（稲田俊輔著）を読みました。東西つゆ論争になりかねない関東と関西のうどんやそばの“しる”の違いが紹介されてました。関東の「かけそば」は色が濃くしつかりした味、一方、関西は澄んで飲み干せるほどのやさしい味。これは、関東の“しる”はざる蕎麦の「そばつゆ」ベースでいわば“ソース”の延長、関西のうどん“しる”は昆布やだしの汁で“スープ”の延長。その違いが、味や色の差異に表れているのだそうです。



どちらも正しい！ただ、立っている背景が違うだけ。この話はそのまま「わたしとは何か？」という問いへの答え、「わたしの自分は、ないともいえるし、あるともいえる、どちらとも正しい！」に重なります。

現代哲学の古典的な考え方の一つに「主体（自分）」は必ずしも自分の中にあるものではなく、他者との関係や世界の構造の中で“その都度”形づくられ、自身の内側と外側の間にあるという考えがあります。アイデンティティ（自分らしさ）とは、内側に確固としてある「実体」というより、他者との違いが内と外に折り重なって“自分”になっていく「生成」のプロセスそのものに顕われる＝現れるという考えかたですね。

みうらじゅんは自伝的作品のタイトル『アイデン&ティティ』で、「アイデンティティ」を崩して表現しました。確かなものとして掴もうとすると逃げていく“自分”を、そのまま笑い放つ感覚でライトに描いています。力を抜くことで見えてくるものもあるのです。

こういうわけですから、「まだ自分がはっきりしない」「自分がわからない」ことを焦る必要はないと思います。あなたの“らしさ”はこれからの出来事といっしょに、自ずとあなたに立ち顕われてくるでしょう。この軽い揺らぎが人生のデフォルトでいいのでは？と思います。



とちぎYMCA

維持会員
法人会員

とちぎYMCA 維持会員・法人会員

募集中

現在の《とちぎYMCA》は、社会の資金で賄われる制度事業の“外側”に新しい活動”を拡げております。

官と民間の活動をあわせもつYMCAですが、みなさまからの貴重な寄付によって、フレキシブルで、創造的で、ボランティアな部分を表現する最もYMCAらしい活動を継続することができます。みなさまのお支えによって続けられますことに感謝申し上げます。

【新規申込み方法】

- ☐ お電話（028-624-2546）資料をお送りいたします。
- ☐ ホームページより（QRコード）
- ☐ 各YMCA 事務所に

【継続申し込み】

- 維持会員費をお支払いください。
- ☐ ホームページより（QRコード）
- ☐ 各YMCA 事務所に



希望ある豊かな社会に。
平和を実現していくチカラに。
「よくなる」連鎖をYMCAと。